2019年度教職大学院修了生の成果アンケート（自己評価用）

以下の設問は、教職大学院のディプロマ・ポリシーであるA～Eの項目について、細分化したものになっています。自分の実践に関して以下の設問に　4「できる」、3「ほぼできる」、2「あまりできない」、1「できない」、0「該当しない」の数字で回答してください。またA～Eの各能力について、設問以外に特に頑張ったこと等があれば、特記事項の欄にご記入をお願いいたします。

【設問】

裏面に続きます（D～F）→

|  |  |
| --- | --- |
| A. 広い教養と深い専門知識をもち、常にその深化・進化を図る能力 | 1～4の数字を入れてください。 |
| A-1. 授業づくりや生徒指導に、獲得した教養や専門知識を生かしている。 |  |
| A-2. 校務分掌や校内研修等、学校運営に寄与するために、獲得した教養や専門知識を生かしている。 |  |
| A-3. 研修や修養の機会を生かして、教養や専門知識をより深めるように努めている。 |  |
| 特記事項 |
| B．高い人権意識をもち、その推進を図る能力 | 1～4の数字を入れてください。 |
| B-1. 子どもの人権を守り育むという意識をもって、日々の授業や生徒指導を行っている。 |  |
| B-2. 人権にかかわる学校全体の取り組みに寄与している。 |  |
| B-3. 保護者や地域の方と連携して、人権意識を高める活動を参加している。 |  |
| 特記事項 |
| C．省察に基づいて常に実践の改善に取り組む能力 | 1～4の数字を入れてください。 |
| C-1. 児童・生徒に関する情報（学力・人間関係・性格特性・特別なニーズ）の把握に努め、授業づくりや生徒指導に生かそうとしている。 |  |
| C-2. 管理職や同僚からのアドバイスを真摯に受け止め、指導や実践の改善に生かそうとしている。 |  |
| C-3. 校内研修等において授業提案を行うなど、自分の実践を省察する機会を積極的に設定している。 |  |
| 特記事項 |
| D．短期的視野と長期的視野の両方から考察する能力 | 1～4の数字を入れてください。 |
| D-1. 1年間を見通した指導計画や教育課程の編成を計画し、実行できる。 |  |
| D-2. 全学年を見通した指導計画や教育課程の編成を意識し、自らの指導に生かすことができる。 |  |
| D-3. 学校経営において教育目標や重点目標といった短期的視野と長期的視野をもって運営を行っている。（＊マネジメントコース修了生についてのみ回答） |  |
| 特記事項 |
| E．自ら積極的に人とつながる、人をつなげる能力 | 1～4の数字を入れてください。 |
| E-1. 同僚や若手教員にカウンセリングマインドを持って接することができる。 |  |
| E-2. 保護者や地域の方にカウンセリングマインドを持って接することができる。 |  |
| E-3. 校内及び校外における学習の人的ネットワークづくりをリードしている。 |  |
| E-4. 成果をあげている実践や研究成果などの情報を集め、校内や校外へ情報を発信できる。 |  |
| 特記事項 |  |
| F．学校改善マネジメントコース | 1～4の数字を入 |
| F-1. 勤務校の若手教員や初任者のメンタリングや指導を行っている。 | れてください。 |
| F-2. 校内において、他の学級の支援を行っている。 |  |
| F-3. 授業実践に関して、校内でリーダーシップを発揮している。 |  |
| F-4. 学校運営に関して、校内でリーダーシップを発揮している。 |  |
| F-5. 校外で開催される研究会や公開授業に積極的に参加している。 |  |
| F-6. 研究紀要などに原稿を書いたり、編集を行ったりした。 |  |
| F-7. その他、学修成果を生かした活動があれば記述してください。 |

ご協力ありがとうございました。